

## 第 1 1 回学校統廃合検討委員会 (H19. 1. 24) 会議録

平成 1 9 年 1 月 2 4 日 (水) 1 8 時 3 0 分～2 1 時 2 0 分

大東市役所本庁 2 階 委員会室

傍聴者 3 名 委員 2 名欠席

- 会長  ただ今より、第 1 1 回の検討委員会を開催します。  
  前回の会議録について、意見等はありませんか。  
  — 一部質問があったが、特に異議等はなく原案どおり承認 —
- 会長  事務局より、本日の資料の説明をお願いします。  
事務局  — 前回の素案 A・B 案の長所短所の比較表の説明 (略) —  
会長  次に、本日委員から提出された資料の説明をお願いします。  
委員  — 会長素案の変更・見直しを求める資料説明 (略) —  
会長  ただ今の提案に対して意見等はありませんか。  
委員  「競争心」という表現は「向上心」とすべき、また、小規模校の許容範囲の 2 2 0 名の計算根拠が疑問である。
- 委員  児童数だけの議論ではなく、小学校数も本市で 1 5 校必要かが問題である。  
  子どもの安全対策面においては、小規模化すると保護者も減少する。小規模校のメリットもあるかもしれないが、少人数のためにかえって目立ち、いじめにつながることもある。
- 委員  児童の自然増は良いが、統合して児童を増やすのは問題である。  
  少子化の時代だからこそ、小規模校のメリットを輝かせるべき。
- 事務局  委員提案の 3 5 人学級の弾力的運用の利用については、学校長の申請に基づいて、教員定数内での運用となります。
- 委員  弾力的運用は、定数内での運用となるため、学校運営上リスクを伴う。  
委員  教科制の中学校においても、教師の持ち時間が増え、安定性を欠く。  
委員  教師の質、親のしつけが重要であり、昔は 1 クラスの人数が多くても、学力は高かった。
- 委員  メリット・デメリットを議論するのではなく、平等な教育が受けられるように学校規模を均等にしていける努力をすべきである。
- 委員  耐震化工事において学校数が多いと経費がかかるなど、財政のことも考慮すれば、統廃合を検討すべきである。
- 委員  管理的経費が減り、財政が潤うという理由で統廃合を行うのは問題である。  
事務局  耐震化工事については、現在 1 年に 3 校実施しており、平成 2 2 年に完了する予定であり、その後老朽化対策の工事に取り組みたい。
- 委員  今日のこれまでの議論では、元に戻ってしまった。少人数も良いと思うが、

少子化や地域のばらつきを考え、将来的な展望に立って統廃合に向けた議論をすべきである。

委員 私は議論が元に戻ったとは考えておらず、統廃合ありきで素案がまとまりつつあるが、統廃合をするのかしないのかをきちんと議論すべきである。

委員 少人数学級の取り組みは良いと思うが、本日の提案の33人学級といった12クラスを確保するための提案はいかがなものか。

委員 将来の教育環境を考えて議論すべきである。

委員 統廃合を検討する上で、教育的な観点は絶対にはずせない。

委員 また、少人数学級のメリットは重要である。

委員 話は少し変わるが、本市は、1クラスの児童・生徒数がどれくらい増えたから、学校を増やしたという基準があるのか。

事務局 基準というものはなく、教室が物理的に足らなくなり学校を増やしたというのが経過だと考えます。

委員 昔は大人数であったが、「いじめ」というものはなかった。「いじめ」は社会的な風潮ではないか。

委員 本日委員提案の地域の分断については、地域は主に中学校区でつながっているので、小学校の統廃合では起こらないのではないか。

委員 当初予定されていた、適正配置・適正規模の中間答申はどうするのか。

会長 いきなり最終答申を出す方法もあれば、中間答申を出して、パブリックコメントを求めるという方法もある。

委員 答申がA案かB案となるとしても、各委員の意見は取り入れるべきである。

会長 他に本日の資料として、私から将来的構想としての「12小学校・6中学校」案の概略的再説明を提示した。

委員 計画性のない統廃合は問題であり、長期的な展望を持って、短期的なことを考えるべきである。

委員 今後の進め方については、委員が変わらない3月末までに答申を出すべきではないか。

会長 中間答申を出して、パブリックコメントを求める方法だと3月末までに最終答申を出すのは困難である。

事務局 パブリックコメントは最終答申を出した後ではなく、審議中に求めていく方法が主流です。各委員につきましては、4月以降もできるだけ委員を継続していただきたい。

会長 他の資料として、出前議会の資料について説明願いたい。

委員 — 出前議会（学校統廃合に関する特別委員会 2/2～4）の案内 —

会長 次回は、2月22日（木）に開催することを決定して、閉会する。

|